

## 大人数のオンデマンドe-Learning授業を運用するためには



## アイスブレイクとしての自己紹介

### ■ 略歴

- 1966年、うどん県に生まれる
- 1985～1994年 徳島大学在学
- 1994～2004年 佐賀大学で勤務
- 2004年～現在 香川大学で勤務



### ■ 現在の肩書き

- 副理事, 情報戦略室副室長
- 創造工学部 副学部長
- 情報メディアセンター 情報監
- 大学教育基盤センター 副センター長
- 大学連携e-Learning教育支援センター四国センター長

## アイスブレイクとしての自己紹介（続き）

### ■ 専門

- 教育工学、教育システム学、情報工学、四国学

### ■ 趣味など

- 柔道(講道館三段)
- 阿波踊り(横笛担当) ※引退しましたが・・・
- 四国八十八カ所霊場遍路



## 本日の概要

- コロナ禍に対する授業実施手法としてe-Learningが多くの教育機関で採用されてきた。
- このような授業実施の経験を踏まえ、対面授業との併用を前提としてe-Learningの利活用が今後も進むと考えられる。
- e-Learningを単に対面授業の置換として考えるのではなく、対面授業にないe-Learningの特徴を活かすことが肝要である。
- 時間割や場所に拘束されないので、学生の学びの機会を増やせる。
- しかし、このような制約が外れると代人数の履修者対応などの検討が必要になる。
- 大人数のオンデマンドe-Learning授業（1クラス500～1000名を1名の教員で対応）を対象として、授業理念、設計、運用、実施に有用なノウハウなどについて実経験に基づき情報共有したい。

## 到達目標

- e-Learningの利点、欠点を説明できる。
- 大人数のオンデマンド型e-Learning授業の授業理念、設計、運用の留意すべき点を説明できる。
- 大人数のオンデマンド型e-Learning授業に必要な機器やシステムを提案できる。



5

## 想定する大人数のオンデマンドE-LEARNING授業

- 1クラス500～1000名程度の履修者数
- 1名の教員で運用
- フルオンデマンド型e-Learning
- 1単位（8コマ）あるいは2単位（15コマ）の講義型科目
- 全学共通科目（様々な学部・学科・コースの履修者）
- 昼間クラス（夜間クラスを含む場合もあり）

6

## E-LEARNING環境

- Moodle（LMS）の利用：香川大学Moodleと大学連携Moodle
  - 香川大学Moodle：本学の全学共通科目と学部・研究科専門科目が全て登録、香川大学の学生・教職員が利用
  - 大学連携Moodle：四国国立5大学（鳴門教育大学、徳島大学、高知大学、愛媛大学、香川大学）で共同開講されたe-Learning科目（知プラe科目）の履修のために四国国立5大学の学生が利用
- 必携ノートPCの利用（推奨）
  - 学内ネットワークに接続できる→学内でMoodleにアクセス
  - 学外からアクセス→学外でMoodleにアクセス
- 学内の教育用PC端末の利用（推奨）
- スマホなどの携帯端末利用（非推奨）

7

## 授業コンテンツの特徴

- オンデマンド型e-Learningコンテンツ
  - 授業の様子を録画したビデオコンテンツ
  - PowerPoint＋ナレーションのビデオコンテンツ
  - 電子テキスト型コンテンツ（画像有り、動画のリンク有り）
- 課題コンテンツ
  - 課題問題（オンデマンド型e-Learningコンテンツに埋め込み）
  - 課題ファイル

8

## なぜ、電子テキスト型コンテンツ？

- 読めば学習できる（本の延長線）
- 小型端末や非力な端末とも相性がよい
- 初期コストをかけずに作成可能
- 内容のアップデートが容易
- 読み上げソフトの併用によるバリアフリー対応
- 売れる電子ブックの可能性（願望）
- AI技術等と連携してメディアリッチなコンテンツになる可能性

9

## 課題コンテンツ（実際の例）

- 1週間の学習：1テーマ、複数コンテンツ+課題コンテンツ
- コンテンツ単位の学習成果の確認
  - 必須課題と追加課題
    - 必須課題はコンテンツの内容の理解の確認
    - 追加課題は調べ学習などコンテンツの内容を超えた内容（回答しなくても良い）
- 科目全体の学習成果の確認（定期試験的な位置づけ）
  - 作問課題（複数題：4問、あるいは、5問）
    - 問題文
    - 模範解答
    - 問題の意図
  - 未提出の場合は、単位は不可（定期試験的な制約条件）

10

## 1週間の流れ（学習と評定）

- 学習コンテンツの公開
- 履修者：学習コンテンツによる学習
- 履修者：課題の解答と課題ファイルの提出
- 教員：採点とフィードバック
- 履修者：（必要に応じて）課題の再提出

11

## やりたいこと（やってきたこと）

- 1000名規模のオンデマンド型e-Learning科目において、提出された課題を1業務日以内に逐次評価してフィードバックを返す！

注）本資料は、オンデマンド型e-Learning科目の教育実践の前提を概説したものである。実践の詳細は当日説明するとともに、アップデートされた資料情報も提供する。

12